

城南 12/15

令和元年(2019年)



城南地区の人口と世帯	
11月末日現在()内は前月比	
人口	18,761人(±0)
男	9,350人(+5)
女	9,411人(-5)
世帯	7,351世帯(+3)

編集発行：前橋市城南公民館 〒379-2117 前橋市二之宮町 1320 番地 TEL268-2111 FAX268-5038
 ホームページ：前橋市 (<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>) → 公民館 → 城南公民館 (支所)

「前橋のこどもを明るく育てる活動」

《城南地区会議 プログラム》

少年の主張

荒砥中学校3年生 都木 夢来さん

「堅い」日本人とルール

海外研修参加報告会

荒砥中学校2年生 吉田 光輝さん

「オーストラリア

中学生海外研修参加報告」



標語と絵画の表彰式

講演会 青少年課

安藤 尚副主幹兼指導主事

「いじめゼロ！

～笑顔あふれる子どもたち」



城南地区別会議が開催されました



城南地区青少年健全育成会・青少年育成推進員会主催の「前橋のこどもを明るく育てる活動 城南地区別会議」が、11月23日(土)城南公民館ホールで開催されました。子どもたちの発表や入賞作品に触れ、豊かな感性と可能性に喜びを感じることができました。

後半は青少年課の安藤 尚さんをお招きし、「いじめゼロ！～笑顔あふれる子どもたち」と題して講演会を開催。子どもの気持ちを受け止める大切さ、家庭と学校、地域の連携が必要などを学びました。いじめの問題は決して他人ごとではありません。今この瞬間も苦しんでいる子どもたちのために、私たち大人の在り方、接し方を知る大変貴重な講演でした。

ご協力いただきました各団体の皆様に感謝申し上げます。地域のみinnで、子どもたちを守り育てていきましょう。

◎共同募金のご協力ありがとうございました

令和元年度「地域歳末たすけあい募金運動」及び「赤い羽根募金」では地域の皆様方からのたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。



◎福祉バザーの結果報告

城南地区文化祭にて福祉バザーを開催。収益は237,630円でした。これらは「歳末たすけあい」として地区の福祉施設(上毛の里、すみれ荘、青空、やまぶき)へ献金いたします。

城南ボランティアの会 役員一同



☆年末年始お休みのお知らせ☆

★城南支所・公民館窓口・リサイクル庫

12/28(土)から1/4(土)まで お休みとなります。

★市立図書館城南分館

12/23(月)から1/4(土)まで お休みとなります。



梵字庚申塔

つ)するため庚申塔を建て長寿を願った。
 庚申信仰は平安時代初めに中国から渡来し貴族の間で行われ、やがて武士に広まり仏教に影響を受け江戸時代には修験者により信徒集団が庚申講として結成された。庚申は青面金剛を主尊としていたが、江戸後期に復古神道が盛んに唱えられ、その影響により猿田彦命を主尊とする石塔も建立されるようになる。(内田憲治記 荒砥史談会)

庚申は中国の道教から起り暦で六十日目に巡ってくる干支の庚申の夜、人が眠っている間に三尸という虫が身体から抜け出し帝釈天にその人の悪事を報告するという。するとその罪の重さによって寿命が短縮させられるので、三尸が体内から抜け出さないよう庚申の主尊青面金剛の掛け軸を掲げ儀礼を行う。そして、その夜は眠むことなく御馳走を食べ講の人たちと朝を迎えるのを「庚申講」という。講の人たちは三尸を調伏(悪行に打勝つ)するため庚申塔を建て長寿を願った。

正面に「梵字庚申」と刻まれており、梵字は庚申の主尊青面金剛、その下の三文字はコウシンレと読み、庚申塔を梵字で表している。梵字の庚申塔はこの地域では初見で東組にある。右側に「宝曆十三癸天(一七六三)」、左側に「十一月大吉」の刻銘が見られる。

梵字庚申塔(上増田町)

城南地区歴史シリーズ 177